

¡VIVA

MEXICO!

日墨グローバルパートナーシップ

広島大学 総合科学部 田代 涼

皆さん、ご機嫌いかがですか？ 日本はすっかり寒くなったのではないのでしょうか？

メキシコも朝と夜はかなり冷え込むようになり、昼との温度差による体調不良に悩む留学生も少なくないようです。私は、謎にとても元気です。メキシコに来て早4ヶ月。生活にも大分慣れ、以前ほど驚くようなことも無くなってしまいました。ただ思い出してみると、来た最初の頃は毎日いろんなことに驚いていたな〜と。11月は最初の何日間学校の休暇があったのですが、（勢い余って先月のレポートに書いてしまいました）それ以降は特に特別なことがあるわけではなく、ある意味メキシコの日常生活を過ごしました。その中でたくさん考えることもありました。これからの生活のこと、スペイン語の伸びのこと、研究のこと、友達のこと…。そんな中で、自分流の息抜きの方法を探したり、趣味を見つけたり、新しいコミュニティを見つけたり、それなりに重要な1ヶ月だったのではないかと思います。今回はそういった生活の中で見つけた自分なりの小さな発見についてお話ししたいと思います。

メキシコの公共交通機関

メキシコのイメージとして、物価が安いというのがあると思います。メキシコの公共交通機関は日本の約10分の1の価格です。一回の支払い（5、6ペソ）支払えば、メトロもメトロバスもどこまでも乗り放題です。どうやって経営が成り立っているのか不思議でなりません。メトロの中には本当にいろんな人がいます。私がいつも微笑ましく思うのは、お年寄りや妊婦さん、子連れの人にすっと席を譲る姿が見られることです。また女性の乗客は朝のバスの中でおめかしします。あのガタガタ揺れるところでどうやって化粧できるんでしょうね。訓練の賜物ですね。乗客もいれば、その中で商売をする人も居ます。かなりの大きな声で車内販売が行われます。例えば、ストッキングや携帯消

毒ジェル、ガム、携帯の充電器、イヤフォン...んんん、まあ確かに必要ではあるけど...といったラインアップ。何が面白いかというと、買っちゃう人がいるということです。

車内販売だけではない、メキシコの商売戦略

車内販売だけでなく、メキシコには道端でもいろんなものが売られています。朝の通勤時間には、甘いコーヒーとパンやチュロス、朝ごはんのタマレスやチラキレスというメキシコの伝統的な朝ごはんが売られています。メキシコ人の大きなお腹を満たす食べ物が通りに並んでいます。安く買えるし、素早くてしかもなかなか美味しいのです。日本だったらコンビニに行くところですね。でもなんだかお店に入るまでもないみたいなところをメキシコでは道端で済ますことができるのです。人々の需要と供給がいい感じに成り立っているのがすごく興味深いです。メキシコではこのようにオフィスで仕事をする人もいれば、通りで物を売って生計を立てている人も居ます。またそれがもしかすると経済格差の原因なのでしょう。食べ物だけではありません、スーパーではレジの横にシニア世代が立っていて、袋詰めをしてくれます。その代わりにチップを渡します。スーパーから雇われているわけではないので収入はそこからだそうです。またちょっと高めのレストランには駐車サービスが存在していて、お店の外にいるお兄さんに車の鍵を渡して駐車してもらいます。これもチップを渡すのが鉄則のようです。正直日本人の私は思いやりのような大きなお世話のような気がしてならないのですが、これはメキシコではれっきとした仕事であり、人々が生きていくための知恵であるのです。ここまでしないと仕事がないというのは、社会問題なのかもしれませんが、もしメキシコ社会からこれらが無くなってしまったら、この国は発展するのでしょうか。なんて考えてしまいます。日本とはまったく違う光景を見て、特に私の中では未だに経済格差を垣間見しまうと、驚きと疑問で頭がいっぱいになります。まだまだメキシコには知るべきことが溢れているのだと思います。

最後に

テストも終わり、これから約一ヶ月の休暇が始まります。この前休暇があったばかりなのに...と思いながらも、また新たなメキシコを知っていけたらなと思います。